

創業100周年を迎え、新たな100年に向けて会社全体の改革に着手。改革の最初のステップとして、取引履歴等の情報の蓄積をデジタル化によって実現する計画を策定。

有限会社小川鉄工所				https://www.ogawatetuko.com/	
本社所在地	江津市都野津町2307-27	資本金	3,000万円	事業概要	窯業／産業機械設備設計施工、各種特殊機械設計・製作・修理、環境関連機器の販売・開発・製造、鋼構造物・製缶及び諸金物製作、各種コンベアー製作、修理など
代表者名	小川泰道	従業員数	13名		
設立年	1924年	業種	製造業		

背景

- 材料の価格高騰や顧客ニーズの変化をはじめとした時代の変化に対応できる仕組みづくりが必要だと考えていた。
- 社員の高齢化や業務の属人化が進んでおり、若年層の育成が課題と感じていた。
- 勤怠管理システムを導入したことで、時間を意識した働き方へと改善したことが成功体験にあり、引き続きデジタル化を図りたいと考えていた。
- 創業100周年を迎え、今後も地域社会に貢献し続けられる企業であるよう熟練技術の継承や、業務の見直しなど、会社全体の改革を進めたいと考えていた。

支援者 | 株式会社えすみ

計画の骨子

課題の設定

- ▶ プレインストーミング等の現状課題分析を通じて、利益創出のためには、業務プロセスの最適化が不可欠であると判断した。
- ▶ 業務プロセスを最適化するにあたっては、過去の製造製品情報や、顧客との取引履歴などの情報が蓄積されていないことを改善する必要があると捉えた。
- ▶ 蓄積すべき情報として、8種類の情報をリストアップし、それらの情報をデジタル化により捉えることとした。

運用を見据えた計画の策定

- ▶ デジタル化にあたって必要となる推進体制とツール選定基準を定めた。
- ▶ デジタルツール運用にあたって必要となる会議体や測定するKPIも定めた。